

ふるさと研究ニュース

2010年6月 第12号

所沢市生涯学習推進センター
ふるさと研究グループ



「ふるさと研究活動」は、子どもからおとなまで、幅広い世代の市民のみなさんの参加により、ふるさと所沢の自然・歴史・芸術・文化・産業など、様々な分野の資料や情報を集め、調査・研究を深めてゆく活動です。「所沢のことをなんでも知りたい！」方のご参加をお待ちしております。

初めて開催！ ところざわ星空フェスティバル



★所沢市市制施行60周年記念事業 ☆主催：所沢市教育委員会 ☆協力：株式会社ビクセン
2日間、楽しみいっぱい。夢を広げながら、太陽・月・星・宇宙を知ろう！



8月28日(土) 10:00~17:00 (観望会は13:00~20:00)



29日(日) 10:00~16:00 (観望会は13:00~)

生涯学習推進センター館内とグラウンド



今年から始まる「ところざわ星空フェスティバル」。市内に本社のある総合光学機器メーカー・株式会社ビクセンとの協力で実現します。天体観望会、講座、工作教室、さわれる天体写真展、望遠鏡展示、公募天体写真展、本の紹介と読み聞かせと、様々な角度から星空や宇宙を楽しめます。当日自由参加のものもたくさんありますので、宇宙の好きな方、親子で、グループで、お誘い合わせて、ぜひご参加ください。

★天体観望会 (土) 13:00~20:00・(日) 13:00~16:00 *当日自由参加

★太陽講座 (土) 14:00~16:00 講師：国立天文台・末松芳法准教授 *8月3日から事前申込

★民俗講座「人のくらしと星」(日) 14:00~16:00 講師：三上晃朗氏 *小学生以上・申込同上

★工作教室 (土・日) 星座絵またはエコスコープの製作 *材料代300円 当日整理券配布

★公募天体写真展「所沢の星空」 *応募期間：8月3日~8日 (詳細は改めて告知します)

★天文ブース (土・日) 望遠鏡の展示、望遠鏡の使い方、天文関連製品紹介、天文情報紹介

★さわれる天体写真展 (土・日) 凹凸で感じ取れる星座図や天体写真/常磐大学・中村正之教授他

★本の中の星空 (土・日) 星空・宇宙の本の展示 ☆図書館職員による読み聞かせ (どちらか1日)

☆プレ企画「伝統的七夕の日に星空を楽しもう！」

今年の「伝統的七夕の日」は8月16日(月)。ライトダウンして、星空を仰いでみませんか。

6月にご覧いただける展示など

| 場 所 | 内 容 |
|------------------|--|
| 常設展示室 | 所沢の歴史・まゆの七変化・自然など |
| メモリアルルーム | 並木東小学校の「記憶」 |
| 南棟3階階段脇掲示板 ミニ写真展 | 松井地区の移り変わり 松井地区の移り変わり その2 6月11日(金)まで 6月12日(土)から |
| 3階中央棟廊下壁 今月の航空写真 | 緑町一丁目 6月30日(水)まで |

所沢市生涯学習推進センター ふるさと研究グループ

Tel:04-2991-0308 Fax:04-2991-0309 Mail:b29910308@city.tokorozawa.saitama.jp

常設展示室のご案内

その4 生の歴史資料を展示しました

昨年6月にオープンして早1年になりますが、これまで常設展示室の歴史コーナーは写真を中心にした展示でした。今回、歴史をより身近に感じていただけるように、展示ケースを配置し、生の歴史資料を展示しました。点数は多くありませんが、やはり歴史資料を間近に見るとその時代の空気が感じられてよいものです。主な展示品は次の通りです。（写真は展示ケース内の資料の一部）

展示資料

- 廻状 天保5年（1834）
- 名主の印判・印箱
- 明治16年 所沢町宿割図
- 昭和8年 所沢町記念絵葉書
- 昭和初期 所沢小唄記念絵葉書
- 年代不詳 所沢緋（所沢飛白）
- 昭和39年 東京オリンピック
関係資料

なお、これらの歴史資料は、資料の劣化を防ぐため時間を置いて入れ替えをおこなっていきます。このほかパネル展示も展示替えをしましたので、是非見学に来てください。



博徒・村上三兄弟



ふるさと研究市民トピック vol. 12

博徒（ばくと）とは、バクチ打ちのことで、江戸時代の後半になると村社会から離脱した無宿（むしゅく）が暗躍しました。いわばアウトローです。彼らの中には親分子分の関係ができて固い絆で結ばれ、清水次郎長のように大きな勢力となる場合もありました。

所沢にも博徒が現れます。中でも、南永井村の村上新三郎を筆頭とした新太郎、新平の三兄弟は、幕末期の一時、川越、秩父、八王子などの博徒100人余を手下にしていたとも言われています。

彼らは慶応3年12月26日に事件に巻き込まれます。前日に品川の薩摩藩邸で幕府方による焼き討ちがあり、事件にあった浪士のうち、桜国輔（さくらくにすけ）、小川香魚（お

がわこうぎょ）、松田正雄の3人が現場からの脱出に成功、桜の出身地の入間郡紺屋村（こうやむら・坂戸市）へ向かう途中、知り合いであった村上三兄弟の家に泊まりました。

ところが、3人が出立した後、兄弟は川越藩に通報、藩兵とともに岸村（川越市）付近で3人と戦います。新三郎と新太郎はピストルで撃たれ死亡、新平も重傷を負って翌月亡くなりました。桜ら3人も自害して果てました。

この話は、文献により登場する人物や名前が異なり正確なところはわかりません。また、このほかにも、所沢では資料から博徒の存在を確認することができます。

（参考文献：国立歴史民俗博物館企画展示図録「民衆文化とつくられたヒーローたち」2004年）